

活動報告 (2015.4 ~ 2016.3)

学術研究所活動報告

学術研究所は2015年(平成27年)4月から、高等教育開発センターを設置し、心の教育実践センターを高等教育附置機関内にTAPセンターとして独立させた事により、現在は6センターの体制となっている。2016年(平成28年)4月現在の構成は下表の通りである。

これらのセンターが所内はもとより、各学部、大学院と連携しながら専門的・学際的・総合的な研究と実践を行い、「全人教育」の旗印のもと、国内外の大学・研究機関や民間企業などとの共同研究、研修受け入れなどを実施している。

以下に、2015年度(平成27年度)学術研究所各研究センターの活動内容の概要を報告する。

2015年度も学術研究所の各研究センターにおいてはさまざまな研究会や講演会、セミナー等が開催された。詳細については次頁以降の各研究センター活動報告を参照していただきたい。

さらに、学術研究所では全学園にわたるプロジェクトをまとめているので、活動報告の一部として、それらを列挙しておきたい。

TSCP (Tamagawa Solar Challenge Project) : 玉川学園の太陽エネルギー利用技術研究についての全学園プロジェクトとして発足して以来継続的に活動を進め、太陽電池と燃料電池を組み合わせたハイブリッドソーラーカー「アポロンディーン号」を開発し、2003年(平成15年)にはオーストラリア大陸4,000kmを横断して注目を浴びた。

2015年度は、国内大会の「WGC(ワールド・グリーン・チャレンジ)」(秋田県大潟村)に参加し、新型カウル搭載4輪2人乗り「未来叶い号」がグリーンフリート部門フリークラス優勝、タイムチャレンジ優勝、グリーンラリーで優勝した。

TWP (Tamagawa Windmill Project) : 太陽、風、その他のソフトエネルギーを有効活用すると共に、環境教育に生かそうとするTSEP (Tamagawa Soft Energy Project) のひとつとして風車プロジェクトをTSCP(上記)と共に活動を開始、毎年玉川学園展にあわせて玉川学園風車コンテストを開催している。

TRCP (Tamagawa Robot Challenge Project) : 2011年(平成23年)4月より『ロボット競技会への出場支援による活発な学生活動の実現』と『ロボットを題材とした理科学習教材の開発』をテーマに活動を開始するため発足した。

これらの活動を支援する事務部門である研究促進室では引き続き研究活動支援とともに、全学的視野をもって、研究助成に係る情報収集並びに外部研究資金の申請や、学内外の諸機関との連携等の業務を行っている。

研究所の活動については、Webサイトも参照していただきたい。

玉川大学学術研究所

<http://www.tamagawa.jp/research/academic/>

平成28年度 学術研究所体制 () 内はセンター主任

所長 大森隆司・工学部教授

● K-16一貫教育研究センター

● ミツバチ科学研究センター

● 生物機能開発研究センター

● 菌学応用研究センター

● 人文科学研究センター

● 高等教育開発センター

● 研究促進室

● 知的財産本部

K-16 Education Research Center

Honeybee Science Research Center

Biosystems & Biofunctions Research Center

Mycology & Metabolic Diversity Research Center

Humanities Research Center

Higher Education Development Center

Research Coordination

Intellectual Property

(岡田浩之・工学部教授)

(中村純・学術研究所教授)

(渡邊博之・農学部教授)

(東岸和明・農学部教授)

(岡本裕一朗・文学部教授)

(小原一仁・教育学部准教授)